## アーカイブ室新聞 (2012年5月31日 第597号)

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

## \*MILTON LOY のグレーティングを収蔵ーその1-

2012年3月末に定年退職したM君が残したものについてアーカイブ室新聞第585号の「3月末で退職したM君が残したものーその1-」(2012年4月26日)という記事を書いた。そのリストの中に、MILTON ROYのグレーティングは次の2個があった。

87. MILTON ROY COMPANY グレーティング 1200 本 26.7 度 35-53-X-360 2917-21-4-2 123. MILTON ROY COMPANY CERTIFIED PRECISION GRATING CATALOG No. 316 63 度 26 分 今回は、123. MILTON ROY COMPANY CERTIFIED PRECISION GRATING CATALOG No. 316 63 度 26 分の紹介である。このグレーティングのデータが写真 1 である。このデータの中にブランク・サイズがあり、220x110x30mm とかなり大型のグレーティングである。

Grooves/mm 3/6 Date 1-22-96 Ruled area 102 206
Blank size 20 10 30 diameter or length width
Radius, if concave Blank material <u>Z=30 Duk</u> Blaze wavelength Blaze angle <u>63°26</u>
Efficiency 6/ % at 4047-1412
63 % at 5086-1174
Resolution $+90$ % of theoretical Intensity of maximum ghost $-903$ %
of parent in the $10^{-12}$ order of 5461A Catalog No. $35-13-13$
Serial No. <u>Bo 3 3 - // - / - 2</u> Please provide both numbers in any correspondence regarding this grating.

写真1 グレーティングのデータ

Radius, if concave は∞とあるから平面グレーティングである。グレーティングの素生についてはデータを見ていただければいい。このグレーティングがどのような目的で購入されたかについては、今になっては分からないが、これはアーカイブ室の収蔵品というよりは、国立天文台の光学部品のストックという位置づけがいいと思う。

研究者の中から、このグレーティングを使用したいということがあるならいつでも提供したい。天文台の中にはこういったまだ使える光学部品がその存在を知られることなく眠っていることも多いのだと思う。アーカイブ室がこのようなリストを公表することで、収蔵品が有効に利用され、研究費の有効利用につながって行くことを願っている。

このグレーティングの箱が写真 2、保護カバーがついた状態のグレーティングが写真 3 である。



写真2 グレーティングの箱



写真3 保護カバーがついた状態のグレーティング

写真 4 は保護カバーを外して写真を撮ったところである。グレーティングはこのような写真ではただのガラスブロックである。グレーティングの素材は ZERODUR と書かれている。グレーティングに添えられた保証書が写真 5、6 である。



写真4 箱から出され、カバーを外されたグレーティング



写真 5 保証書の表



写真6 保証書の裏

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp